

(2) 「ひとり学習」の導入により、児童一人一人が能力に応じて課題に取り組む、その後の「相互学習」においても、深い読みを支えられた話し合いができるようになってきた。また、教師の制御も極力削減する姿勢が見られ、児童の主体的学習態度や意欲が大きく向上した。

- (一) 今後の課題  
 (1) 他教科の年間指導計画の整備  
 (2) 授業の質的改善を求めた継続研究
- 五、研究の充実と発展を求めて

二年間にわたった研究の充実と発展を求めて、今年度は次の点に努力している。

- (一) 授業研究を通じた社会科の年間指導計画の作成  
 (二) 国語力を高める指導法の研究  
 (1) 課題づくりの時機をどうするか。  
 (2) 「ひとり学習」を充実させるための指導の手立てはどうあるべきか。  
 (3) 読みを深めるための語句の指導はどうあるべきか。

生き生きと学習に取り組む生徒を育てるにはどうしたらよいか。  
 ～生徒が意欲的に考え、積極的に活動できる学習の展開～

白河市立白河第二中学校

一、基本的な考え方

学習指導要領、生徒の実態、現代的

要請をふまえ、学校教育目標の具現化を図るため、本研究主題に取り組んでいる。

「生き生きと学習に取り組む生徒像」を意識・態度・行動の三つの観点からおさえる。(資料1)

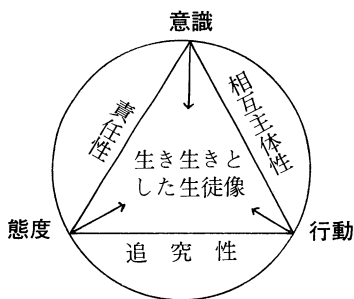
二、研究の内容及び方法

- (一) 研究内容  
 指導過程の組織化を図る。  
 ①教材の精選、指導内容の重点化  
 ②教科、教材の特質に応じた指導過程の工夫  
 ③評価の機会と方法の工夫
- (2) 学習方法訓練を図る。  
 ①基礎、一般学習訓練の徹底  
 ②教科、教材による学習方法の検討改善、訓練
- (二) 研究方法  
 (1) 日常の授業を通して実践する。  
 生き生きと学習に取り組む生徒像を視점에観察する。  
 (2) 全体授業研究(年3回)を通して検討し、改善につとめる。  
 (3) 教科部会、研修委員会、全体研究協議会において、主題にせまるため有機的に研究を深める。

三、研究実践の概要

- (一) 指導過程の組織化を図った。  
 教材の精選、指導内容の重点化 (資料2)  
 ①学習指導要領に示されている各領域、単元目標、内容をおさえた。

資料1 生き生きと学習に取り組む生徒像



意識面	態度面	行動面
<b>責任性</b> (自分のものとして取り組む) ・学習する意味がわかる。 ・学習目標をよみとる。	<b>追究性</b> (積極的に取り組む) ・自ら進んで学習しようとする。抵抗をしりげなく。 ・学習に工夫を求めている。	<b>相互主体性</b> (協力して学習する) ・自分の力で問題を解決している。 ・支え合いの学習をしている。

- ・教科の目標、学年の目標、内容の取り扱いを項目ごとにまとめ、関連が明確になるよう図式化した。
- ②教科書教材の吟味と指導内容の重点化を図った。

(資料3)

- ・教材の中心的な考え方(中心観念)を設定する。
- ・中心観念を支えている重要事項(基本要素)を取り出す。
- ・基本要素をとりまく具体的学習事項(具体要素)を取り出す。
- ・学習課題の解決にあたって駆使されるべき既知の基本的な知識、理解、技能など(前提条件)を考慮する。

- ウ単元または題材の目標の具体化を図り、一単位時間の到達目標を引き出し、単元指導計画に生かす。  
 エ生徒の実態(既有知識や技能、考え方、興味、関心等)を調査し、単元指導計画や授業に生かす。  
 オ本時の学習目標を明確にし、到達目標として設定し、一単位時間の指導過程に下位目標を位置づけ、学習指導案を作成する。
- (2) 教科、教材の特質に応じた指導過程の工夫

①指導過程の類型を明確にした。

- ・各教科、教材の特質に応じて、知識・理解を中心とした、技能習得